

大型サーモスタット混合栓取扱説明書 (お客様用)

据付業者さまへのお願い

この取扱説明書と、保証書に貴店名ならびに
取付日をご記入の上、お客様にお渡しください。

- ☐ このたびは、GROHE 製品をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。
- ☐ この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ☐ この取扱説明書(付属の保証書)をお読みにになりました後もすぐに取り出せる場所に大切に保管してください。
- ☐ この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
- ☐ 不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ☐ 転居される場合、次に入居される方にこの説明書と付属の保証書をお渡しください。

もくじ

安全上のご注意	1
特長	3
各部の名称	3
ご使用前に	3
ご使用上の注意	3
ご使用方法	4
寒冷地にて使用する場合 ストレーナーの清掃方法	5
お手入れの方法	6
定期的な点検	6
故障かな?と思ったら(修理を依頼される前に)	6
定期的な部品交換	7
アフターサービスについて	7
認証登録番号	7

安全上のご注意

ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
この説明書では、機器を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表 示	意 味
 注意	この指示を無視して、誤った取扱をすると、障害または、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保存してください。
また下に示す記号は説明書や製品に表示してお客様に安全に正しく製品をお使いいただくようにしたものです。内容をよく理解して正しくお使いください。

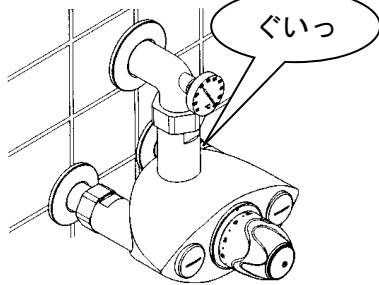
 この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。	 この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。
 この絵表示は、「接触禁止」の内容です。	 この絵表示は、「分解禁止」の内容です。

⚠注意



禁止

器具に乗ったり、よりかかったりして無理な力を加えないでください。

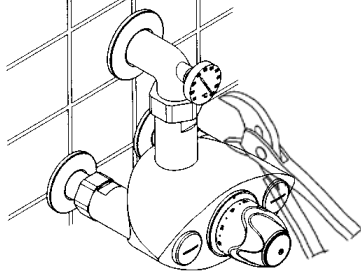


器具が破損し、けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



分解禁止

分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。



器具が破損し、やけど、けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



接触禁止

高温の湯をお使いのときには出口側は高温になっています。直接肌を触れないでください。

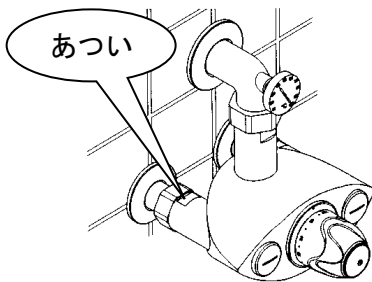


やけどするおそれがあります。



接触禁止

器具の左側は給湯側のため高温になっています。直接肌を触れないでください。



やけどするおそれがあります。



禁止

シャワーヘッドの取扱いには充分ご注意ください。



落としたり、ぶついたりすると破損の原因になります。



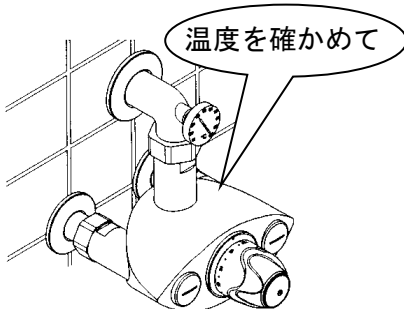
禁止

他所との同時使用により圧力変動が起こり、お湯の使用中に湯温が急上昇する事があります。

やけどするおそれがあります。



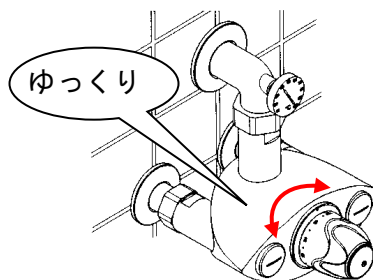
温度調整ハンドルの表示を確かめた後、吐出してください。



高温の湯が出てやけどするおそれがあります。



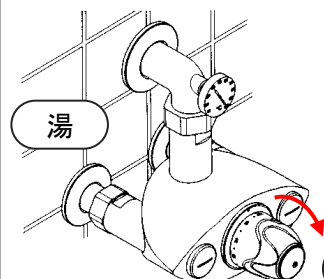
温度調整ハンドルを急に回すと、温度が急上昇することがありますので、ハンドルはゆっくり回してください。



やけどするおそれがあります。



必ず温度調整ハンドルの目盛を42℃以下に戻しておいてください。



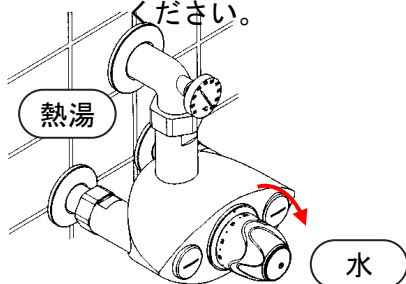
高温の湯が出てやけどするおそれがあります。

42

⚠注意



高温の湯をお使いの後、器具内に高温の湯が残らないように、しばらく水を流してください。



次に使用する時、器具内に滞留した高温の湯が出て、やけどするおそれがあります。



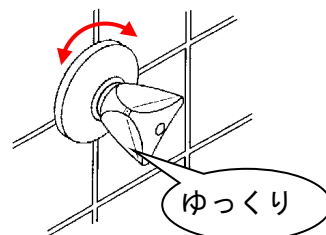
シャワーをお使いになる前に、必ず手で適温かどうか確かめてください。



高温の湯が出てやけどするおそれがあります。



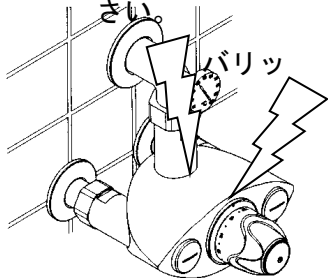
ハンドル操作の急停止は、配管からの漏水を起こすことがありますので、ゆっくり操作してください。



漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



凍結が予想される際は、水抜き方法に従って配管の水抜き操作と水栓金具の水抜き操作を行ってください。



凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



給水・給湯圧力差およびシャワー等の流量が少ないとい使用温度が変化します。

高温の湯が出てやけどするおそれがあります。

特 長

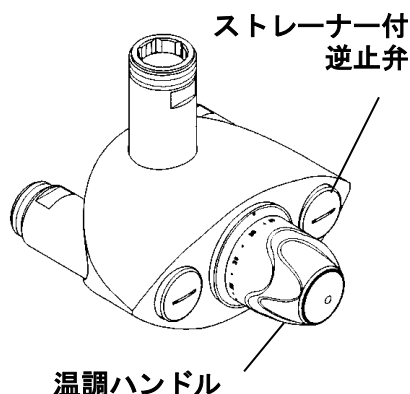
- 給湯器からのお湯を1カ所で適温に調整します。大流量が必要な人が多く集まる施設に最適です。

※給水・給湯圧力差および最低流量等の使用条件を守ってください。

各部の名称

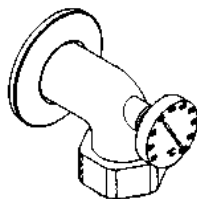
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

本体

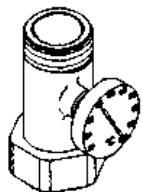


アウトレット

壁付

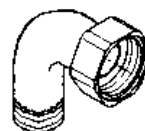
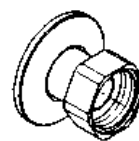


縦型



温度計付
(温度計無のものもあります)

インレット



ご使用前に

- ピットスペースの中に設置されております、止水栓が開いているか確認してください。閉まっている時はハンドルを左に回し、開けてください。

※図は縦型止水栓で記載されておりますが、横型止水栓についても同様です。



△注意 ご使用上の注意

●ガス給湯器と合わせてご使用の場合

- ◎比例制御式の給湯器の設定は、温度調節を高温（使用温度＋10℃）にしてください。
- ◎能力切替付きの給湯器では、能力を季節に合わせてご使用ください。
※吐水量を絞って使用すると給湯器が着火しない場合があります。
- ◎給水圧力が低いときや水温が高いときは、給湯器が着火しない場合があります。
このときは、給湯器の設定温度（能力切替は能力）を少し上げてお試しください。

●レバー（ハンドル）の操作

- ◎レバー（ハンドル）操作は、急激な回転は行わないでください。
※急激な操作をすると水栓または、配管部で音がでたり、吐水温度が急激に変わります。
- ◎混合栓を使用する際は、必ず水から吐水してください。
※熱湯が吐出して熱湯でやけどする恐れがあります。

ご使用方法

1. 温度ダイヤル

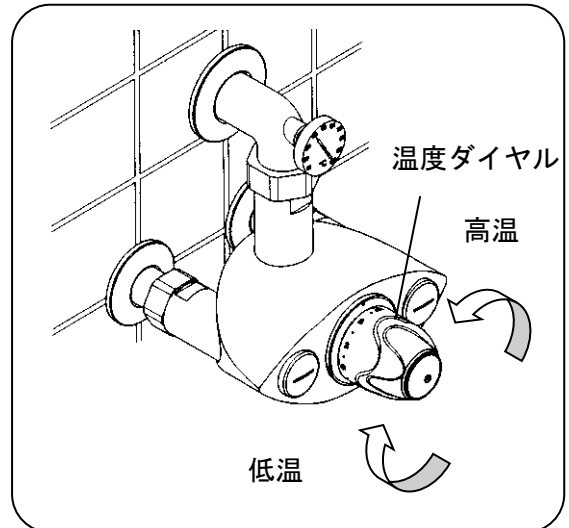
●温度調整

本体下部の温度ダイヤルを回すことにより、吐水温度の調整を行うことができます。

左に回して → 高温になります

右に回して → 低温になります

※高温をお使いになるときは、必ず温度ダイヤルを水からゆっくり湯側に回して、好みの温度のに調整してください。



●一時的に熱湯を出す場合

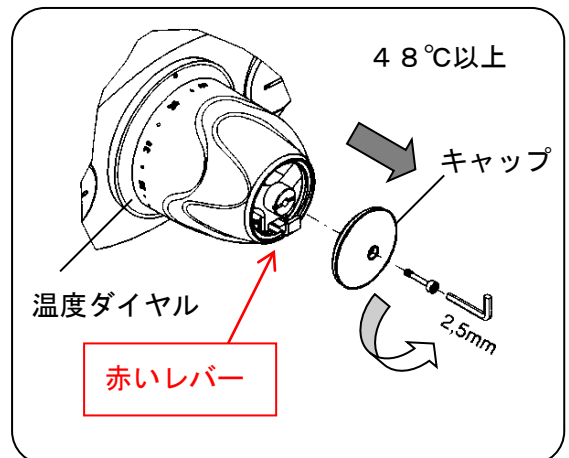
温度ダイヤルは、やけど防止のため48℃付近でロックするようになっています。
48℃以上の高温をご使用の場合、以下の方法を行ってください。

キャップの付属ビスを2.5mm六角レンチで左回しに取り外し、キャップを引く抜きます。

温度ダイヤル内部の赤いレバーを手で引っ張ります。

温度ダイヤルを左に回すと熱湯側になります。

※熱湯をお使いになった後は、必ず温度ダイヤルを48℃以下に戻してください。
安全のためキャップは、必ず取り付けてください。



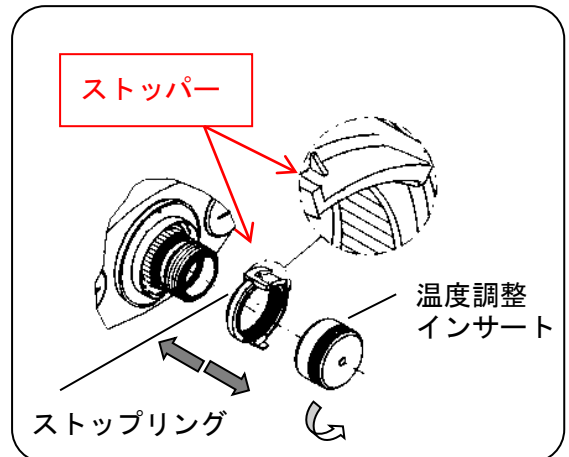
●温度調整範囲の変更

48℃付近でのロックは変更することができます。必要な場合は以下の手順で変更してください。

- ①キャップの付属ビスを2.5mm六角レンチで左回しに取り外し、キャップを引き抜きます。
- ②止ビスをマイナスドライバーで左回しに取り外し、温度ダイヤルを引き抜きます。
- ③温度調整インサートを手で左回しに取り外します。
- ④ストップリングを手で引き抜きます。
- ⑤ストッパーを変更したい位置に差し込み直します。

※温度調整インサートを左右に回して温度調整の設定（施工説明書の図5参照）をしてください。

※高温側にストッパーを位置変更しますと水側の一部が使用できなくなります。別表を確認のうえ変更してください。



温度設定	25℃～60℃	30℃～70℃
ストッパーの位置	約45°の位置	約90°の位置

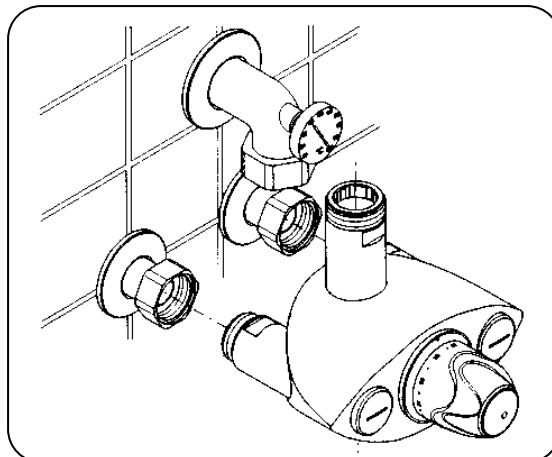
寒冷地にて使用する場合

凍結が予想される場合は、次の手順で水栓の水抜きをしてください。

1. 水が流れやすい配管

- ①給水・給湯の配管は水が流れやすいよう勾配をつけてください。
- ②本体左右・上部の袋ナットを工具で左回しに弛めて、本体を取り外してください。

※給水栓を開けるときには、必ず組み立てを完了しておいてください。



2. 水栓の操作

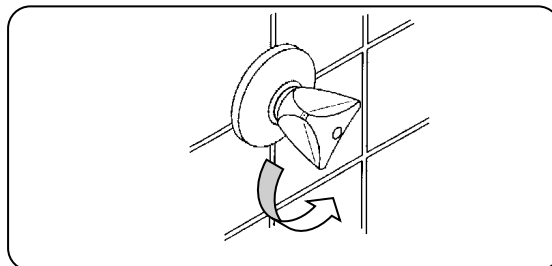
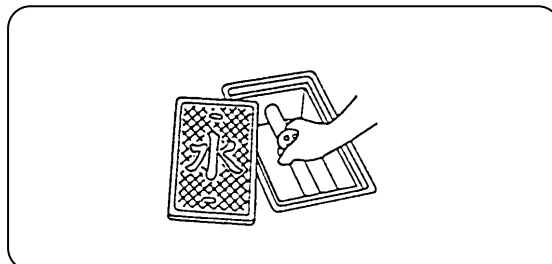
- ①逆止弁が取り外してあるか確認してください。
- ②屋外の給水栓を閉じ、不凍栓を開放してください。
- ③開閉ハンドルを開栓してください。

※水栓内の水は配管へ流し、ドレンバルブ等で開放してください。

※冬期、水栓内部の水が凍結すると、本体部分および部品が破損する可能性がありますので必ず水抜きを実行してください。

※水抜き操作後は必ず水栓のハンドルを閉栓してください。

水栓の水抜き方法は機種等によって方法が変わります。水栓の取扱説明書をご覧ください。



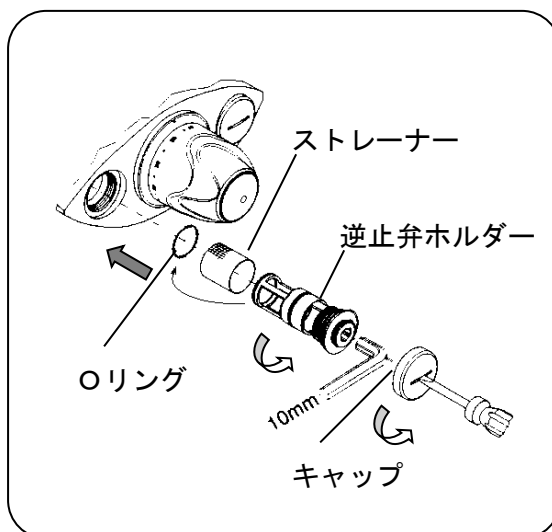
ストレーナーの清掃方法

ストレーナーは以下の方法で清掃してください。

- ①止水栓を閉めて水が出ないことを確認してください。
- ②湯水の化粧キャップをマイナスドライバー等で左回しに取り外してください。
- ③湯水の逆止弁ホルダーを10mm六角レンチ等で左回しに取り外してください。
- ④逆止弁ホルダーの先端リングを取り外し、ストレーナーを引き抜いてください。
- ⑤ストレーナーのゴミをブラシ等を使用し水で洗い流します。
- ⑥組立は逆の手順で行います。

※作業前は必ず止水栓を閉めてから作業をしてください。
止水栓を開けるときには必ず逆止弁ホルダーを取り付けてから止水栓をあけてください。

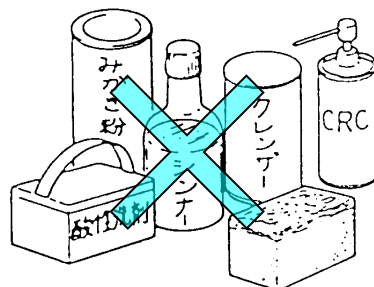
※ストレーナーの先端、ネジ部分等でケガをしないようご注意ください。



お手入れの方法

いつまでもご愛用いただくために普段のお手入れは、次のことを注意してください。

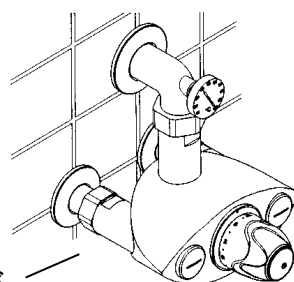
- 表面が汚れたら、柔らかい布でふいてください。
- 汚れがひどいときは、適当に薄めた中性洗剤をふくませた布で、ふきとってください。そのあと水でぬらした柔らかい布をよく絞って、洗剤をふきとり、最後に柔らかい布でからぶきしてください。
- お手入れの際は、クレンザー・みがき粉や粗い粒子を含む洗剤・塩素系洗剤・シンナー・ベンジン及びナイロントワシなどは、器具の表面を傷つけたり、侵したりしますので使用しないでください。
- 壁面のタイル等をカビ取り剤で洗浄した場合は、タイル及び水栓を十分に洗い流してください。



△注意 定期的な点検

安全・快適にご使用いただくために、定期的に点検をおこなってください。

- 配管まわりの水漏れ（1ヶ月に1回程度）
 - ◎配管まわりの水漏れがないか確認してください。
部品の劣化・磨耗などによって生じる漏水で、家財などを濡らす財産損害発生を未然に防止するために、配管まわりの点検をおこなってください。
- 水栓のガタツキ（1ヶ月に1回程度）
 - ◎水栓のガタツキがないか確認してください。
ガタついたままお使いになると、配管に負担がかかり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



水栓
水漏れがないか確認

ガタツキがないか確認

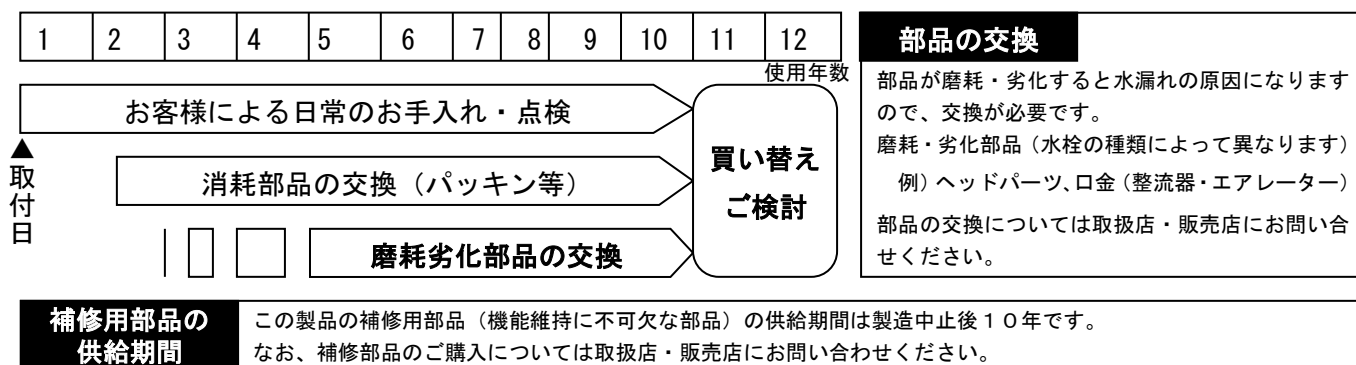
故障かな？と思ったら（修理を依頼される前に）

このようなとき	よくある例	ここをお調べください
● 吐水量が少ない (少なくなってきた)	①配管内のゴミがストレーナーにたまってきた。 ②給湯器の温度設定が不適切である。	(1) ストレーナーにゴミ詰りがないか確認してください。 ※「ストレーナーの清掃方法」をご参照ください。 (2) ガス給湯器と組合せてご使用の場合、能力切替付のものは、適正能力にセットされていることを確かめてください。
● 適温の温度調節がスムーズに出来ない	③配管内のゴミがストレーナーにたまってきた。 ④給湯器から十分なお湯がきていない。 ⑤水または、湯のいずれかの圧力（勢い）が強過ぎる。	(1) 上記同様、ストレーナーにゴミ詰りがないか確認してください。 (2) 給湯器から十分なお湯がきていることを確認してください。 (3) 湯側・水側とも吐水量が同等であることを確認してください。 ※以下の方法で調整してください。 1. 温調ハンドルを湯側いっぱい位置に合わせて吐出し、湯側の止水栓で適量に調整します。 2. 温調ハンドルを水側いっぱい位置に合わせて吐出し、湯側いっぱい位置の吐水量と同じか、または2倍位になるように、水側の止水栓を調整します。
● 水の量が多すぎて使いづらい ● 使用時に高い音をする	⑥水の圧力（勢い）が強過ぎる。	上記と同様の方法で止水栓を締め込んで水または湯の量を適量に調整してください。 場合によっては減圧弁等を設置してください。

※上記処置で故障が直らない場合は、取扱店、据付業者、または当社サービスセンターへご相談ください。

※上記処置以上の分解、修理、改造は行わないでください。ケガをしたり、故障、破損の恐れがあります。

定期的な部品交換（部品は水栓の種類によって異なります）



アフターサービスについて

◆修理を依頼されるとき

お求めの取扱店、またはグローエサービスセンターに修理を依頼してください。

<保証期間中は>

- 修理に際しては、保証書をご提示ください。
- 保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

<保証期間が過ぎているときは>

- 修理により使用可能な商品については、有償にて修理を承ります。

<修理料金は>

- “技術料” + “出張料” + “部品代” + “消費税” + “必要な経費” で構成されています。

<連絡していただきたい内容>

- | | | |
|-----------------|---------------|--------------------|
| 1. ご住所、ご氏名、電話番号 | 2. 商品名 | 3. 品番（保証書または品番一覧表） |
| 4. ご購入日 | 5. 故障内容、異常の状況 | 6. 希望訪問日・在宅可能日時 |

◆修理の依頼・お問い合わせは

グローエサービスセンター
0570-666-368

受付時間 平日 9:30~17:30（受付・お問い合わせ）
平日夜間・土・日・祝日 24 時間（漏水等緊急時のご相談のみ）

大型サーモスタット混合栓

品質確認実施工場	株式会社 LIXIL 半田工場
認証登録番号	E-298
特記事項	浴室専用「飲用使用範囲外設置品」

グローエジャパン株式会社

ホームページアドレス <https://www.grohe.co.jp/>